

データ利活用ワーキンググループの 取組報告



データ利活用ワーキンググループ

メンバー

氏名	所属・職
川村 秀憲	北海道大学大学院 情報科学研究所 教授（リーダー）
湯村 翼	北海道情報大学情報メディア学部 准教授
佐々木 卓也	フュージョン株式会社
渡部 真也	株式会社リージョナルマーケティング
蓑島 智大	札幌市デジタル戦略推進局 スマートシティ推進部デジタル企画課
川口 陽海	室蘭市企画財政部企画課
林 禎康	北海道オープンデータ推進協議会
藤田 鉄平	株式会社HARP
喜多 耕一	北海道水産林務部林務局治山課

オブザーバー

会議
開催日時

- 第1回 令和5年11月24日（金）16:00～18:00 かでの2.7
- 第2回 令和5年12月20日（水）15:00～17:00 かでの2.7
- 第3回 令和6年 1月17日（水）14:00～16:00 かでの2.7

データ利活用を進めていく上でWGで提言された考え

WGで提言された考え

- 昨年度までの反省としては、具体的な例がなかった
- AIの登場によってデータの意義は大きく変わってきている
- まずは、どんな役に立つのかのインスタンスを作って共有し、やってみようという機運を作っていくことが、次に議論すべきこと
- データがあるから使って何かするというのは難しい。課題もしくは発想があって、それを解決するために、人材の育成が始まってくる。実践ベースの結果、人材が育っていくのが実際
- 必要なのは、どうしたらサービスがアップできていくかとか、データを扱うことに対してのハードルは下がってきているので、より発想を豊かにして行く方にリソースを割っていくべき。
- このWGでの議論は、実践をやっていくというフェーズに来ている
- 具体的にメリットとして何が生まれるのかという話を先にしないと、その先の話が進まないかと思う
- 行政職員がデータを作ること、人手をかけていたものを労力削減できて、仕事も楽になることが最初
- csvでデータを揃えて、ChatGPTを使うと、アナリストがやるような分析ができる。ChatGPTのアプリっぽいものを一つ作って、それを例にして見せることも含めて、具体的な事例を作ること
- 大きな考え方として、人口減少・働き手がいなくなると、その時にDX・AIを進めていかないと持たない。
- 何のためにやるのか。今まで10人でやっていたものを8人でやれる方法を考えましょう、そうした時AIが必要ですよね。

データ利活用をするために「今」行うべきこと

データ利活用を進めていくために必要なこと

- データ利活用のメリットを具体的に示していくこと
- 最初は、行政職員に対し、データを作成することで、仕事の労力削減に繋がることを示していくこと
- アナリストがやるような分析ができるChatGPTのアプリを一つ作って見せることも含めて、具体的な事例を作ること
- 人口減少・少子高齢化による担い手不足等の課題をDXやAIを活用することで解決していくこと
- データ利活用人材は、仕事として実践を通じて育成していくこと
- 発想を豊かにして行く方にリソースを割っていくこと

推進方策

具体的なユースケースの創出

AIの活用

実践を通じた人材育成

AIを活用してデータ利活用のインスタンスを作成し、
共有・実践することで人材育成を図る

道におけるデータ利活用推進の方策（案）

AIを活用してデータ利活用のインスタンスを作成し、
共有・実践することで人材育成を図る

AIを活用した庁内ユースケースの創出（実証）

庁内の一部を対象とし、AIに関する基礎知識及び業務での活用に当たってのリテラシーやリスクを学ぶ研修を実施

AIを活用した業務改善に向けての具体的なユースケースの発掘や業務における活用機会の検討のためのワークショップを開催

具体的なユースケースを創出して実証することにより、AIの活用が適切な業務領域や効果的な活用方法を特定

AIの活用に対する理解促進や更なるユースケースの創出につなげるため、実証で得られた効果的な活用方法などを全庁に横展開

実証で得られた知見を道内市町村等へ提供することで、データ利活用を推進!!

令和5年度の道庁のオープンデータに関する取組

道庁保有データ棚卸し調査の実施

調査期間

令和5年12月5日～12月25日

対象部局

本庁各部局

対象
データ

- 市町村や事業者、道民などから収集した一覧表形式のデータや統計データ
- 道が管理する施設等の台帳データ
- GIS等で表示できる地理情報データ

道保有データのリスト（約1000件）を作成し、オープンデータとして公開

<https://www.harp.lg.jp/opendata/dataset/1917.html>

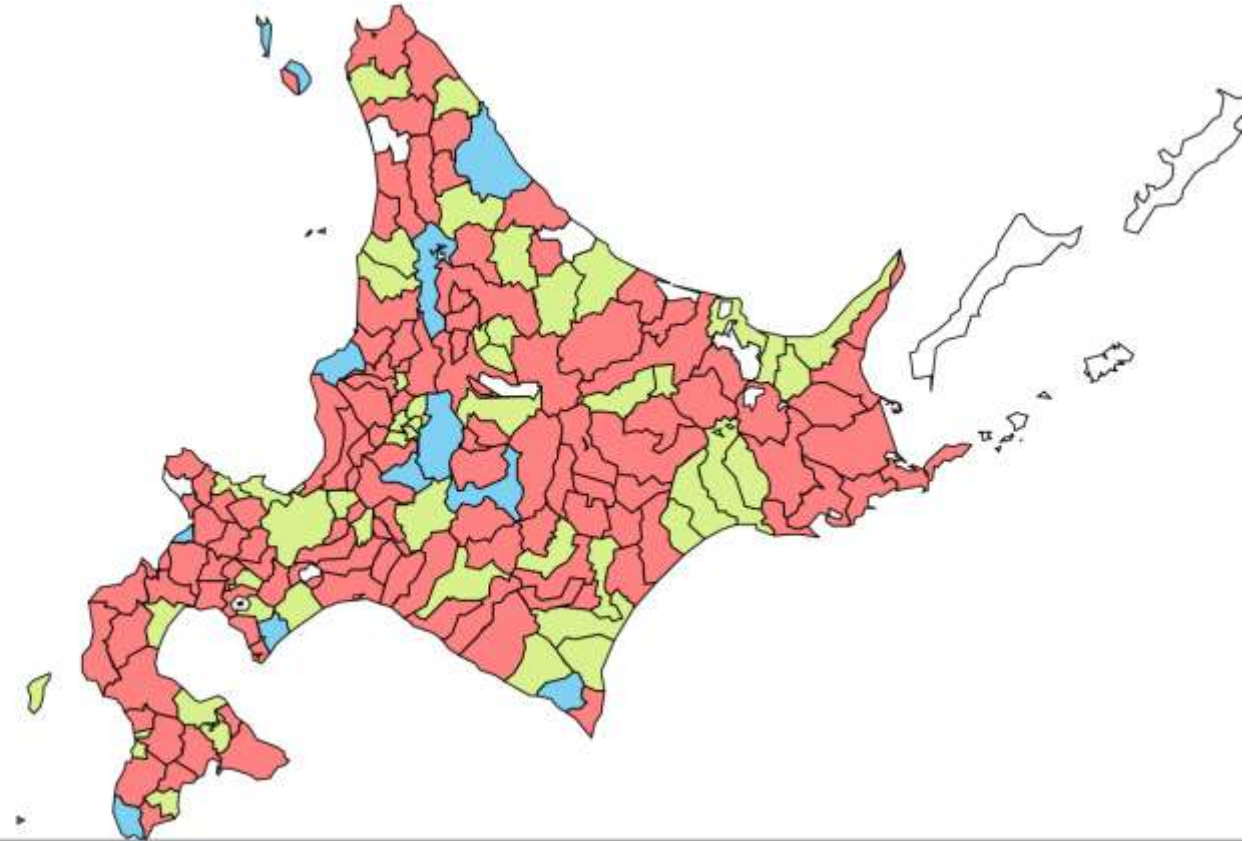
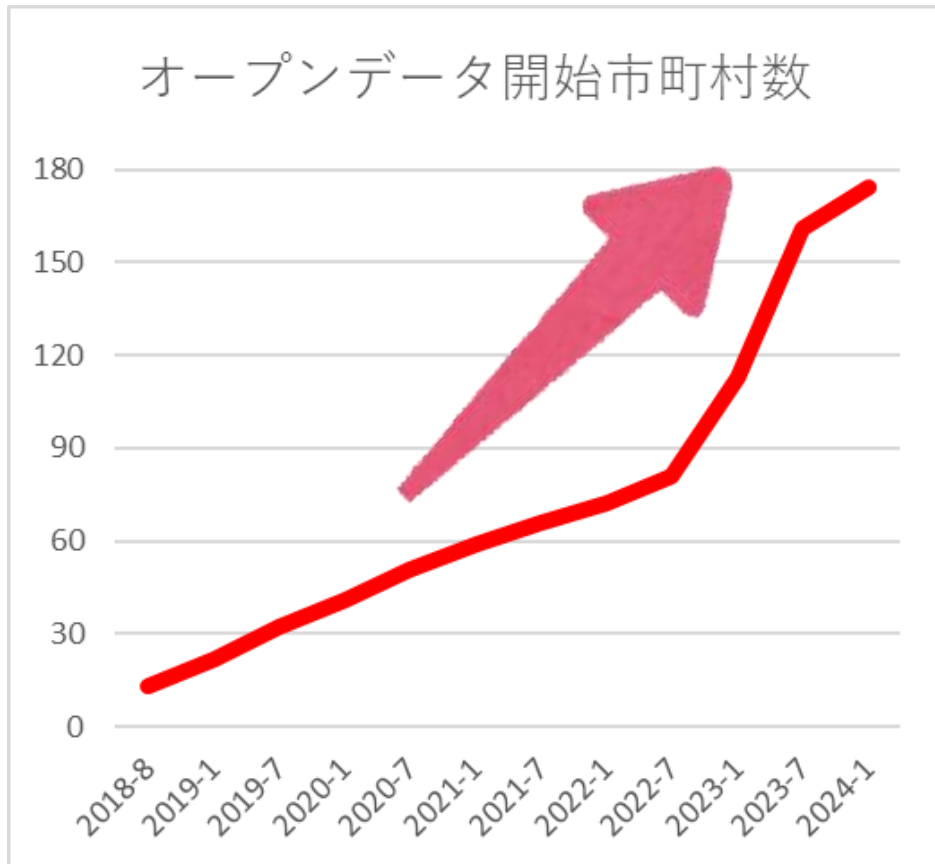
執行機関	整理	部・部局名等	課名等	分類	データの名称	データの概要	データID	更新頻度	ファイル形式	ファイル形式	(または給)	公開	ホームページURL
011500	1	総務部	総務課	財政	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証		1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/sum/a0005/
011500	2	総務部	総務課	環境	湧別町のチューリップ（赤れんが庁舎前庭）の開花情報	赤レンガ庁舎前庭のチューリップの写真等	1-100	不定期	HTML		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/sum/a0005/
011500	3	総務部	総務課	環境	北海道庁前庭の桜の開花情報	赤レンガ庁舎前庭の桜の写真等	1-100	不定期	HTML		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/sum/a0005/
011700	1	総務部	人事局人事課	行政	幹部職員一覧		101-500	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/a0002/
011700	2	総務部	人事局人事課	公務員	人事発令	係長級以上の人事発令情報	101-500	随時	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/a0003/
011700	3	総務部	人事局人事課	公務員	人事行政の運営等の状況の公表	職員数や給与等の状況など	1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/uneitounojoukyou.html
011700	4	総務部	人事局人事課	公務員	北海道における障害者である職員の任免状況		1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/koyouzuyoukyu.html
011700	5	総務部	人事局人事課	公務員	道職員活躍事例集		1-100	随時	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/toujyuketvoutyou.html
011700	6	総務部	人事局人事課	公務員	等級及び職制上の段階ごとの職員数	地方公務員法第58条の3第2項の規定に基づき、等級及び職制上の段階ごとの職員数について公表	101-500	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/toujyuketvoutyou.html
011700	7	総務部	人事局人事課	公務員	懲戒処分等事案の公表		1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/husyaji.html
011700	8	総務部	人事局人事課	行政	報事表彰	北海道功労賞、その他の賞	1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/TOUHYOUSYOU.html
011700	9	総務部	人事局人事課	公務員	北海道職員表彰受賞一覧		1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/jnj/hokkaidoushushumtyou.html
011900	1	総務部	財政局財政課	財政	予算編成過程		1-100	毎年	PDF		無	可	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/bsi/yosanhensei.html

市町村のオープンデータの取組を推進

市町村のオープンデータの推進を支援し、
オープンデータ取組開始市町村が**急増中**！

2024年1月末現在

174 市町村 実施率97%



データ利活用・連携基盤に関するアンケート調査の実施

	都府県調査	道内市町村調査
調査期間	令和5年11月27日から12月6日まで	令和5年11月27日から12月6日まで
調査対象	46都府県	道内179市町村
調査内容	計22問（データ利活用3問、データ連携基盤に関するアンケート19問）	計24問（データ利活用1問、データ連携基盤に関するアンケート23問）
回答	46都府県（回答率100%）	179市町村（回答率100%）
調査結果 （概要）	<ul style="list-style-type: none">データ連携基盤は、12都府県が構築済（構築予定を含めると26都府県）構築後の課題は、サービスの創出、運用費負担、市町村との共同・連携、データの充実等先行する都府県から助言は、「サービスの具体化」、「基盤構築のメリット・デメリットの検討」の必要性、「事前の推進体制の整備」の重要性など	<ul style="list-style-type: none">データ連携基盤は、3市町村が取組済（構築予定を含めると5市町村）大半の市町村が、「データ連携基盤の必要性は理解しているが、実施時期は未定」と回答市町村の回答からは、今後、データ連携基盤を構築する場合、他の市町村との共同構築し、市町村規模に見合った費用負担を望んでいることが読み取れた

令和5年度北海道オープンデータ官民ラウンドテーブル

オープンデータの要望がある民間のデータ利用者と、道の担当者が直接話し合う場として「北海道オープンデータ官民ラウンドテーブル」を開催

日時 令和6年2月開催予定

過去に3回開催

- ・ 道有建物一覧
- ・ 道有施設のエネルギー使用量
- ・ 道有林の河川濁度調査
- ・ 生活困窮者支援関係データ

などが、オープンデータとして公開された



写真：令和4年度実施の様子